



味の素とガーナにおける ソーシャルビジネスの限界



チームアジパンダ（渡邊ゼミ）

ガーナの子供の栄養不足

5歳未満の **5人に1人** が発育阻害

「人生最初の1000日」

栄養不足により十分な成長ができなくても、その後の人生において、成長を取り戻すことができない乳幼児期の十分な栄養摂取が重要



【ガーナ大学】

離乳食KOKOのタンパク質
不足改善



【味の素】

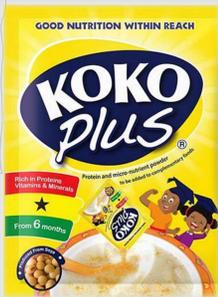
100年記念事業
栄養問題解決

KOKO Plus



ガーナの伝統的な離乳食KOKOにかける
粉末状の栄養サプリメント

3 A
Acceptable 現地の食文化を尊重
Affordable \$0.1/袋/日
Accessible いつでもどこでも入手可能



3 L
Local 原料
Local 生産
Local 販売会社

現地の人々のビジネスに
組み込む

看護師による母親への栄養教育
栄養の重要性

持続可能な事業モデル

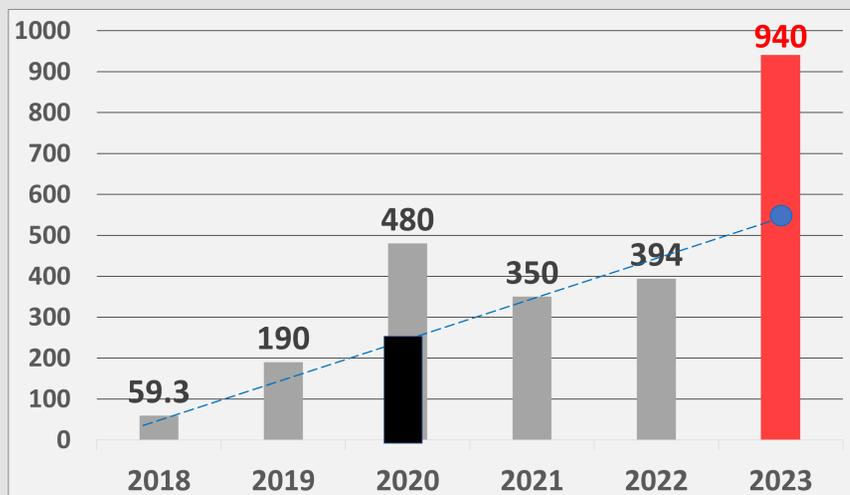
持続性のない無償提供ではなく

事業に必要な資金を利益でまかなう



しかし実際は、

【販売数（万个） ※2023年度は目標販売数】



2018年度～2022年度事業報告 公益財団法人味の素ファンデーション

▶2023年度 **自走目標販売数到達は困難**

なぜか？

Q1. KOKO Plusの知名度が低い？

①学会や東京サミットでの発表が中心

②KOKO Plusのインターネット広報が発達していない

⇒ガーナのスマホ普及率は99.8%

SNSの平均利用時間は世界第8位（2023年1月時点）

③看護師による栄養教育の活動範囲が狭く、アプローチできるのが
少人数

▶実際に届いて欲しいガーナの一般市民に十分な情報が
行き届いていない

Q2.物流に伴うシステムが整っていない？

①ガーナの物流システム

道路輸送97% ⇔76%が未舗装

→配送に時間＆料金がかかる

②ガーナには住所がない

→正確な荷物の配送が困難

▶物流コスト高騰

⇒在庫管理不足や現地規制による負の影響



↑ガーナ国内の道路状況

Q3.販売量拡大よりも注力している活動がある？

①KOKO Plus自動包装機導入

→生産効率アップで一袋当たりの生産コスト減

(\$0.056/袋→\$0.048/袋、目標\$0.040/袋)

②原料在庫管理や購買状況の可視化

→過剰在庫、過剰生産防止

③原料調達先見直し

▶効率化・コストダウンに注力



まとめ

- ・ガーナの栄養問題の解決を目指してKOKO Plus事業を開始したが事業自走目標には程遠い
- ・味の素のような大企業でも持続的な運営に苦労
- ・ソーシャルビジネスの注目は高まっているが
現在の途上国では持続的に運営することは難しい
- ・対象国の状況に合わせてアプローチを工夫することが
必要である

参考文献

公益財団法人味の素ファンデーション[<https://www.theajinomotofoundation.org/>]

JICA、味の素による官民連携の具体例[https://www.jica.go.jp/Resource/jica-ri/ja/news/topics/l75nbg000018ydbx-att/20190730_01_pdf_takahashi.pdf]

Kelp S. (2023) Digital2023: Global overview report [<https://datareportal.com/reports/digital-2023-global-overview-report/>]

